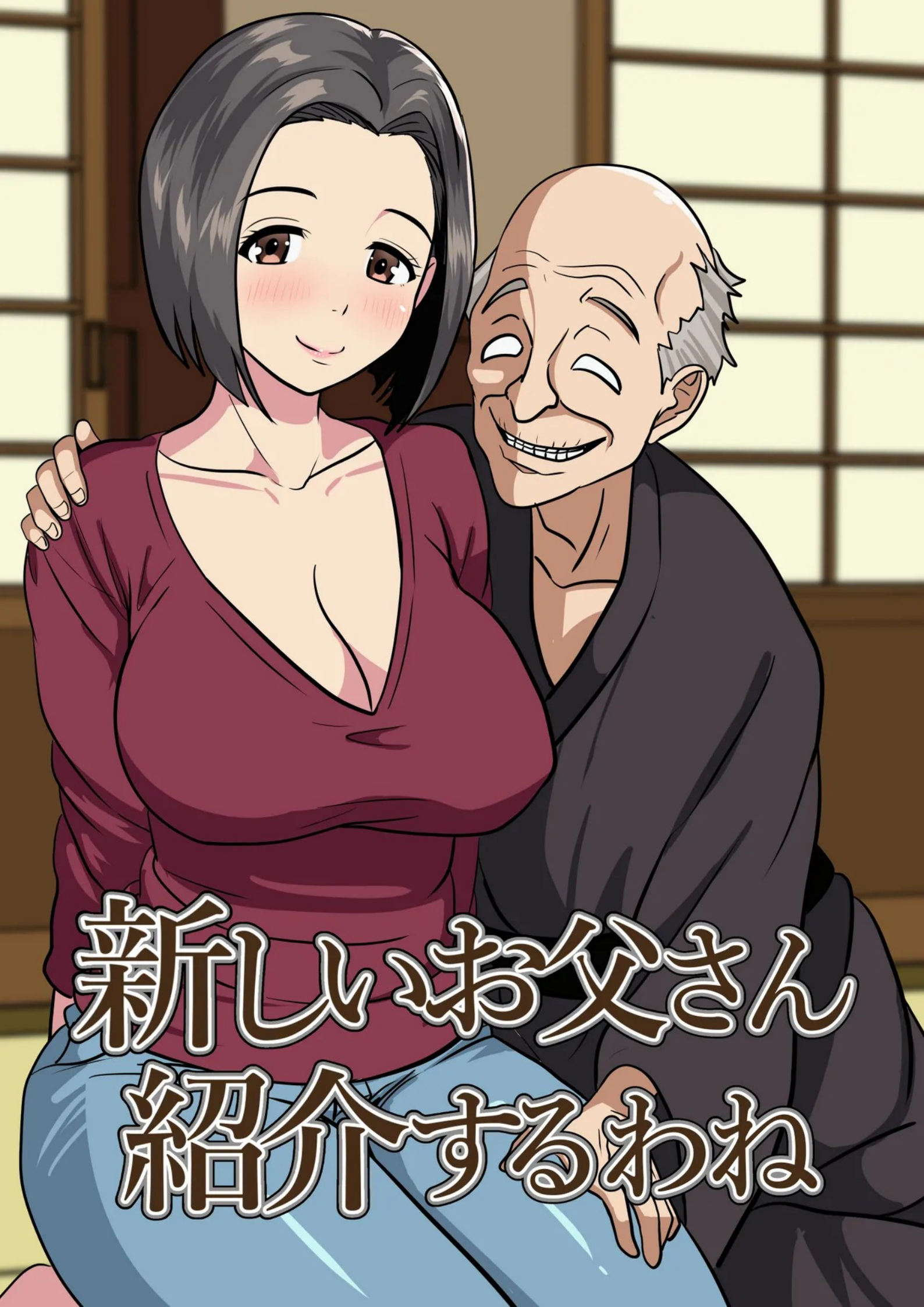


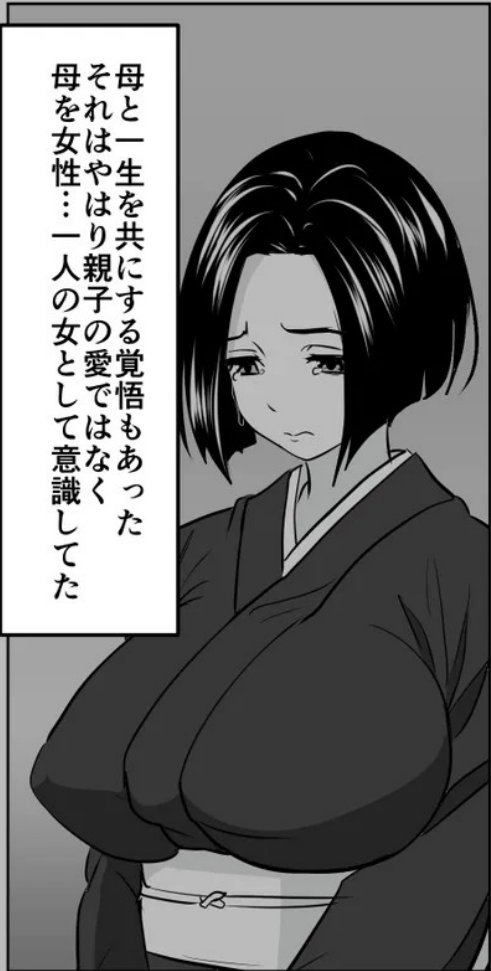


新しいお父さん
紹介するわね





父親が亡くなってから10年
独り身で寂しかったのだから
紹介したい人が居ると言われた時は
嬉しさもあったが悔しさもあった



母と一生を共にする覚悟もあった
それはやはり親子の愛ではなく
母を女性…一人の女として意識してた



自分の事よりも母の幸せを想う
だからこそ喜ばしいと感じたが



あまりにも老けた男を
紹介されるとは
夢にも思わなかった

卓也君驚いただろうね
わしがあまにも年寄で



えっええ…その年齢を
お伺いしたいのですが

わしは御年82歳じゃ

82歳…



その失礼ですけど…
母との結婚は止
めてくれませんか

卓也なんで
そんな事を…!

わしが年寄で
何の問題があるんじゃ





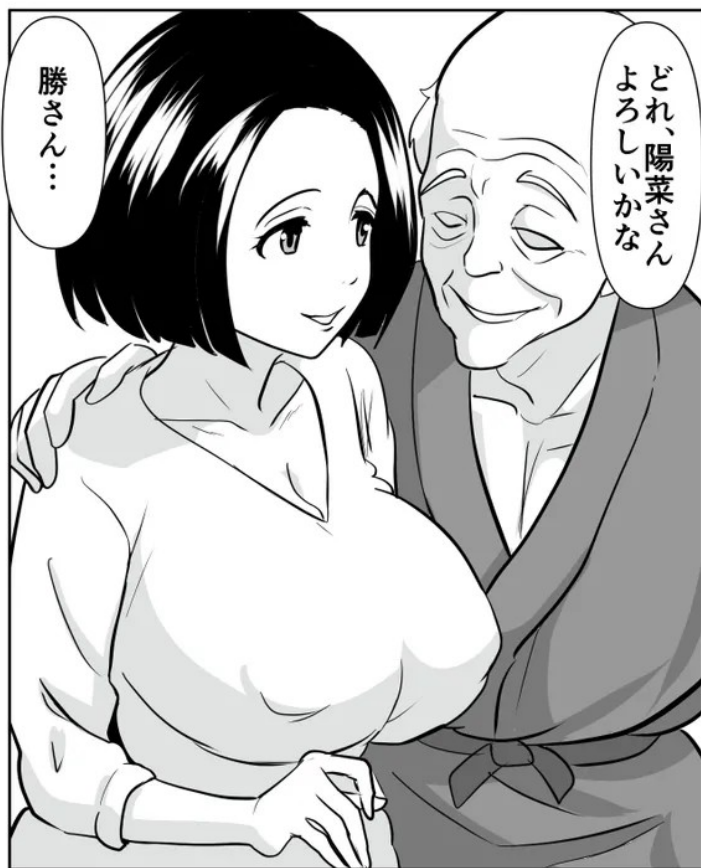
それじゃ

なるほどのお
卓也君の
母の想いがよく分かった



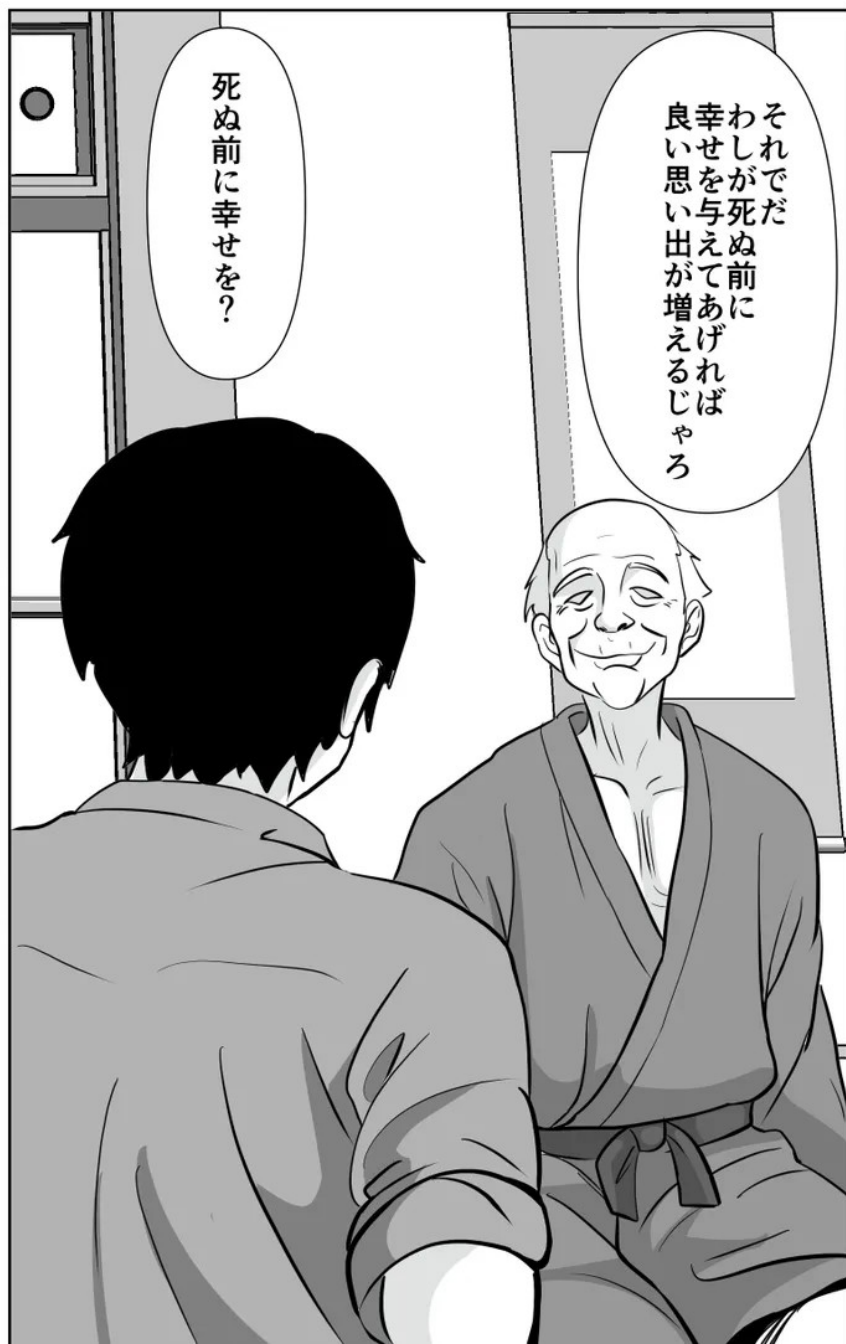
母は父を無くして
寂しい思いをしてきました

また母を悲しませることは
したくないんです



勝さん…

どれ、陽菜さん
よろしいかな

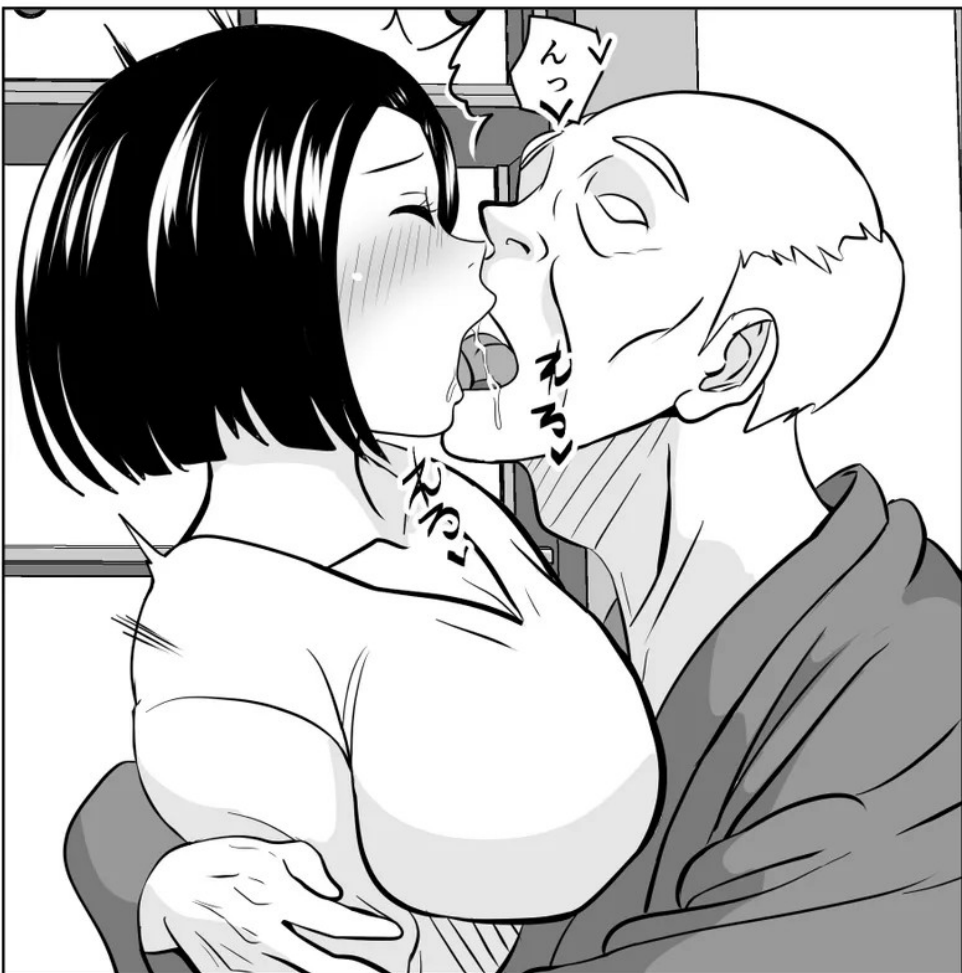


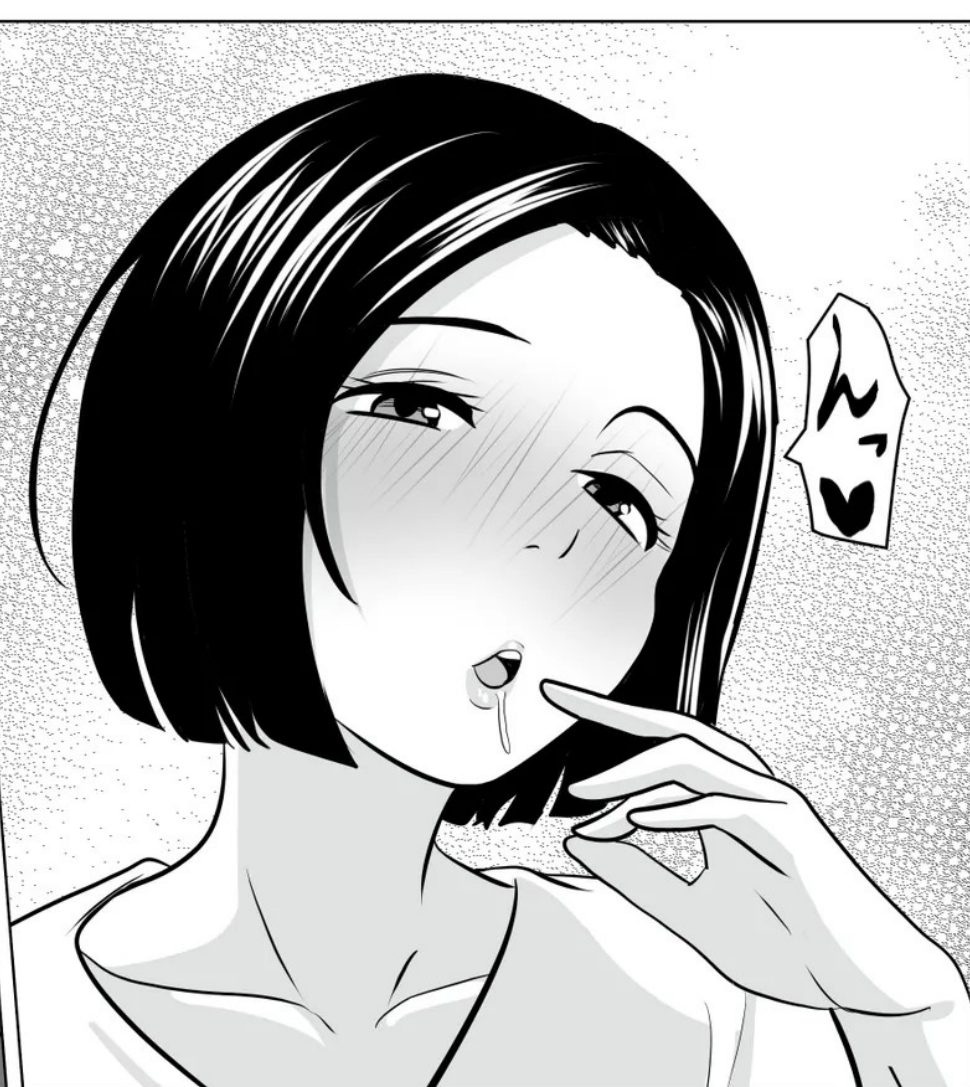
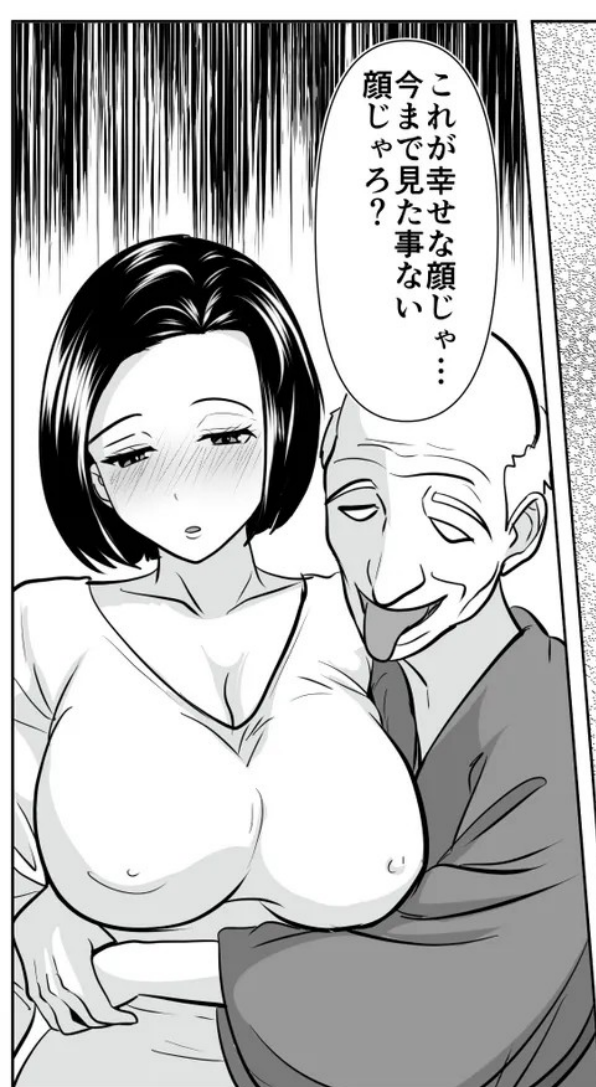
それでだ
わしが死ぬ前に
幸せを与えてあげれば
良い思い出が増えるじやろ

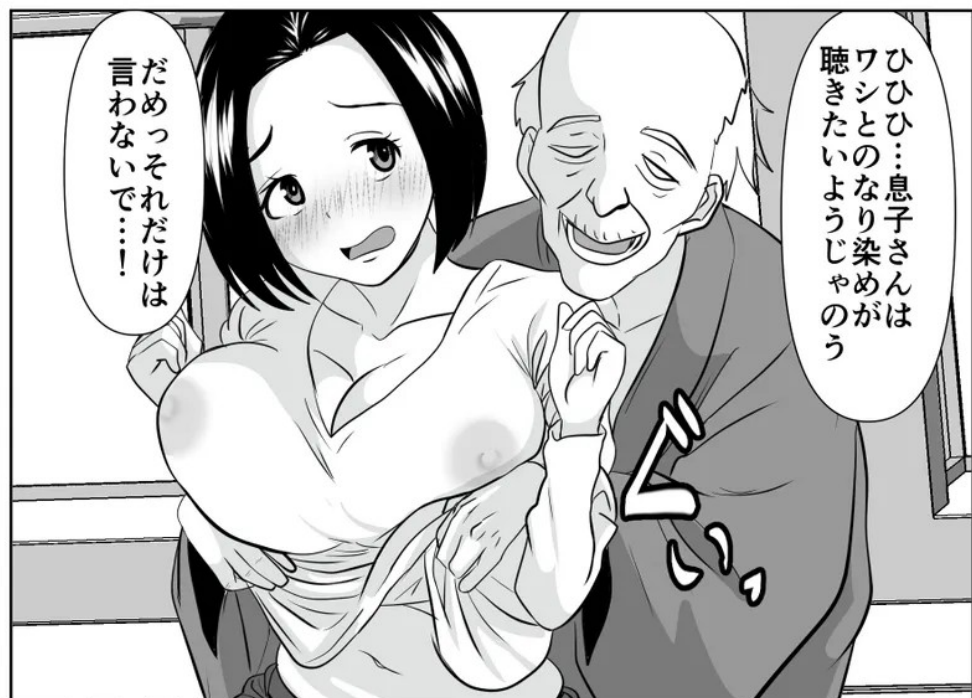
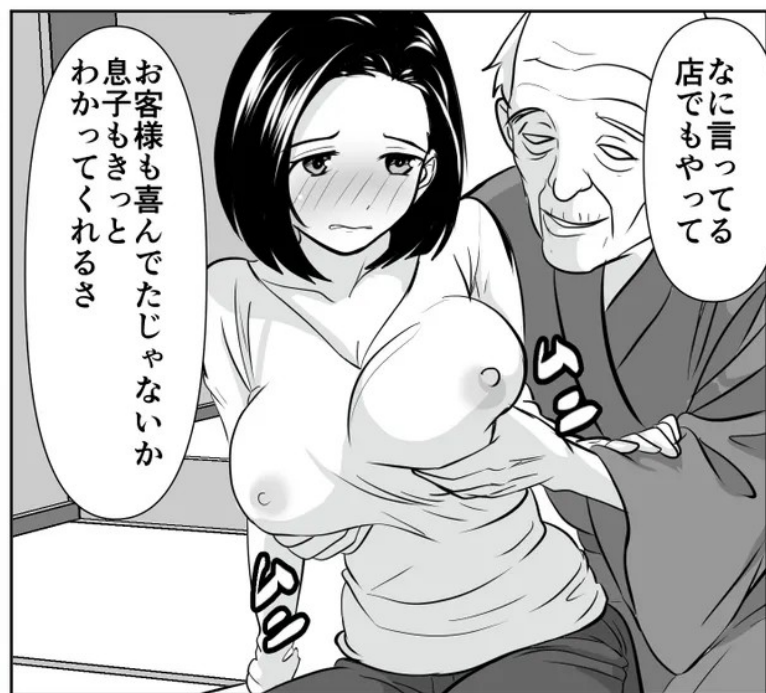
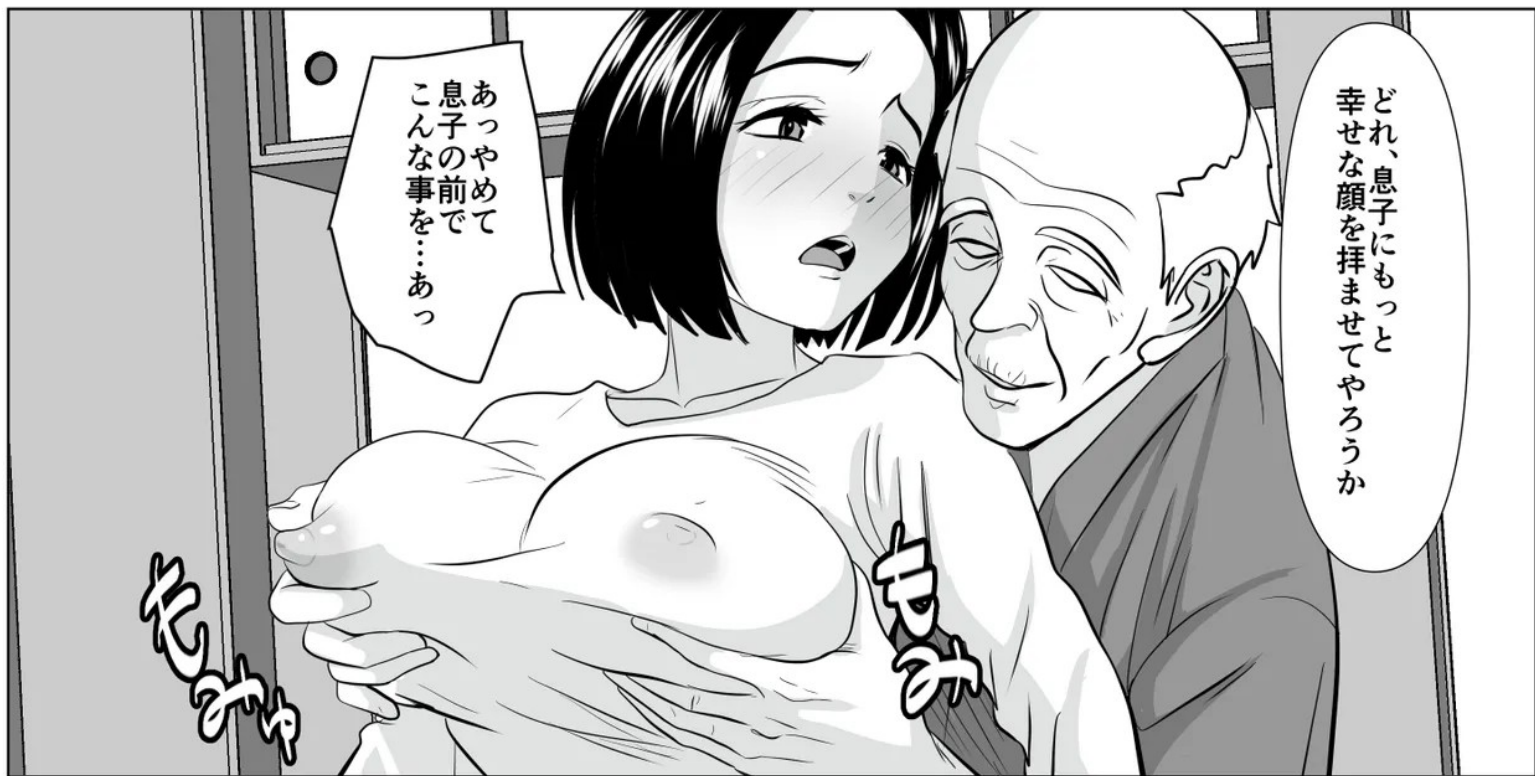
死ぬ前に幸せを？



「おや」





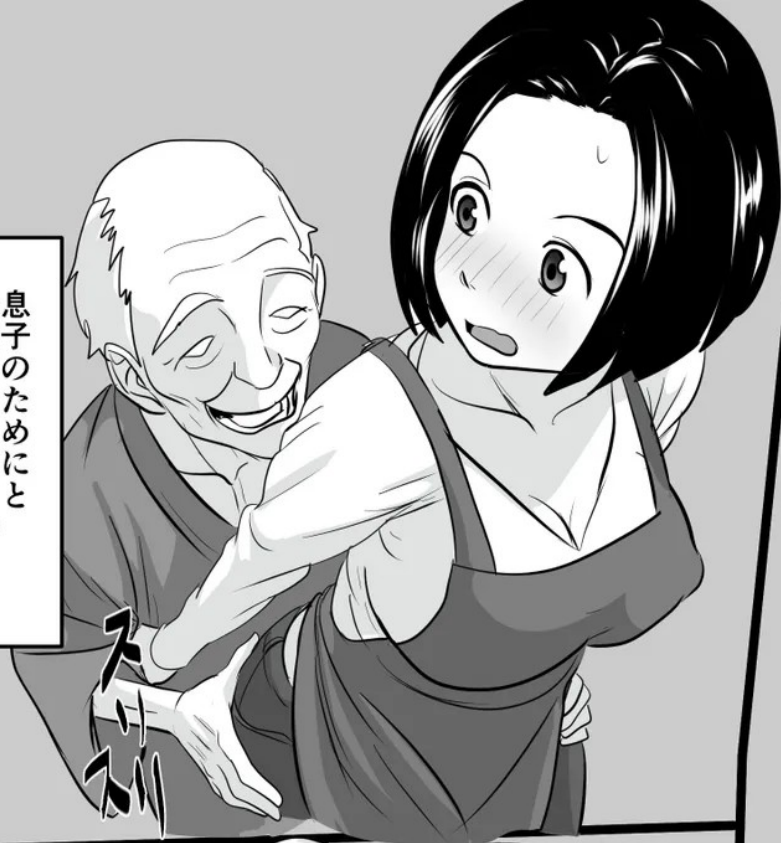




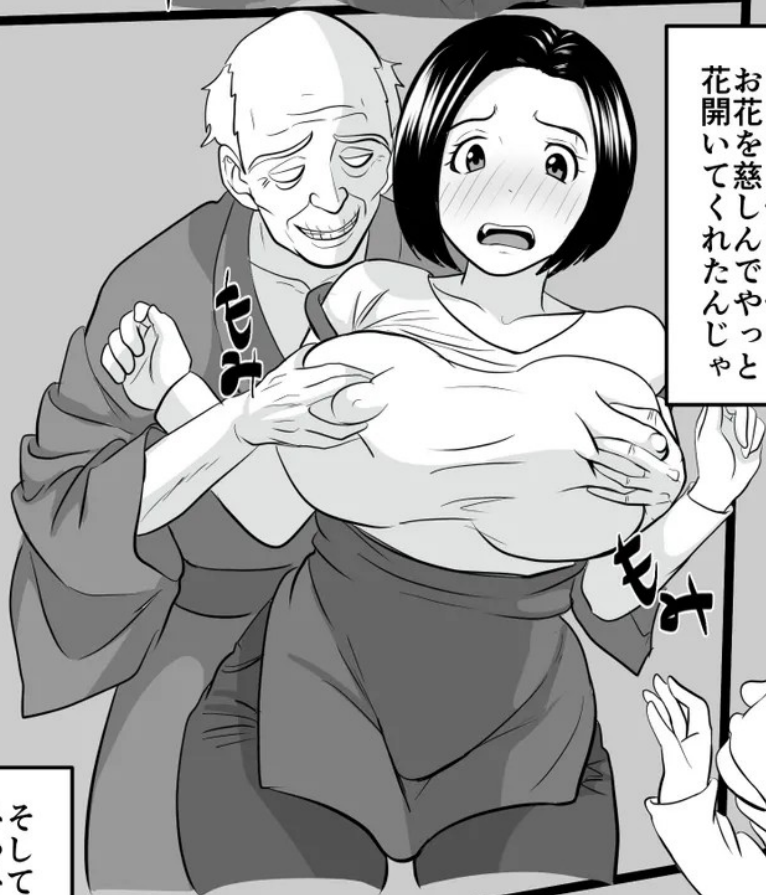
陽菜がわしの店に
働いてからずっと
セクハラしてたんじや



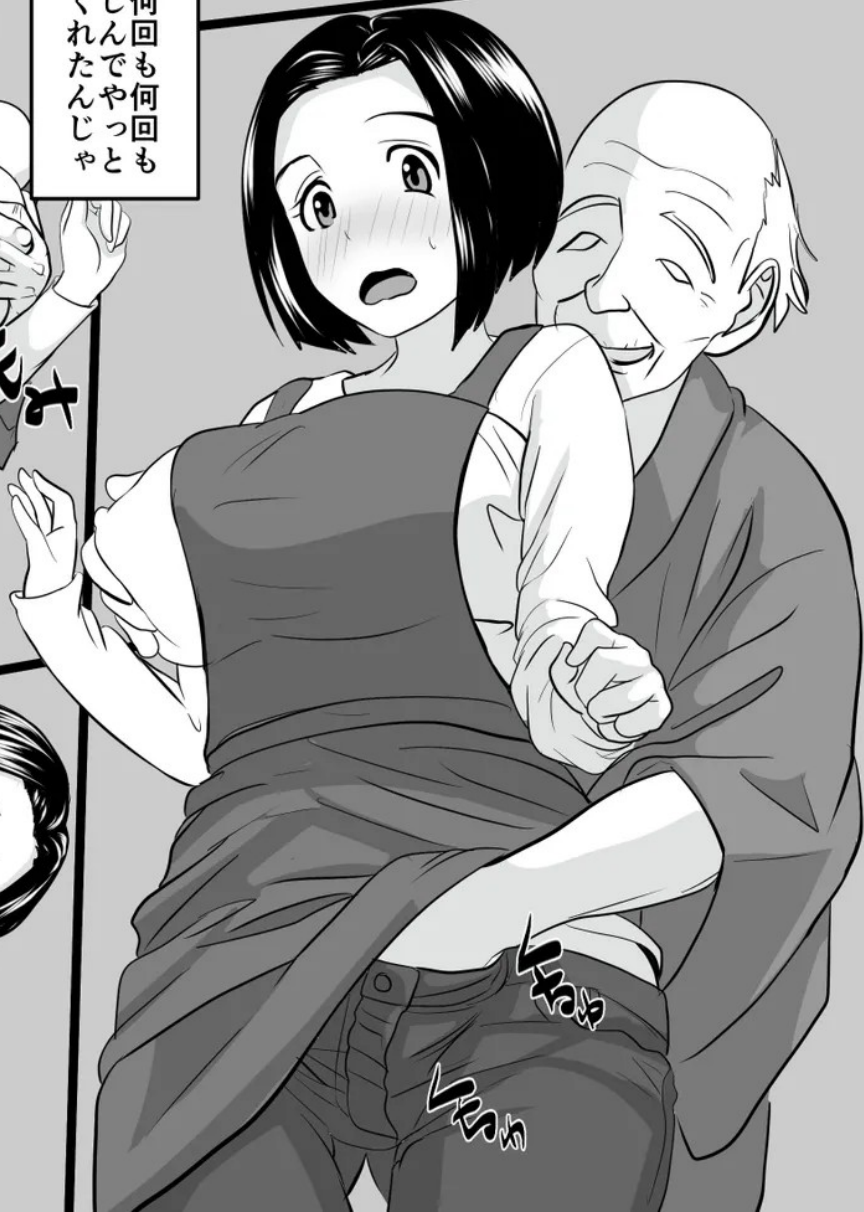
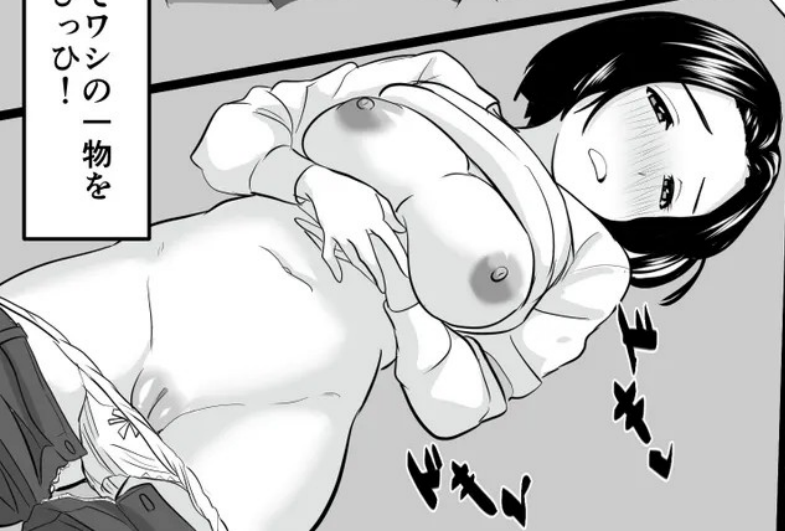
息子のためにと
我慢してたんじやろ



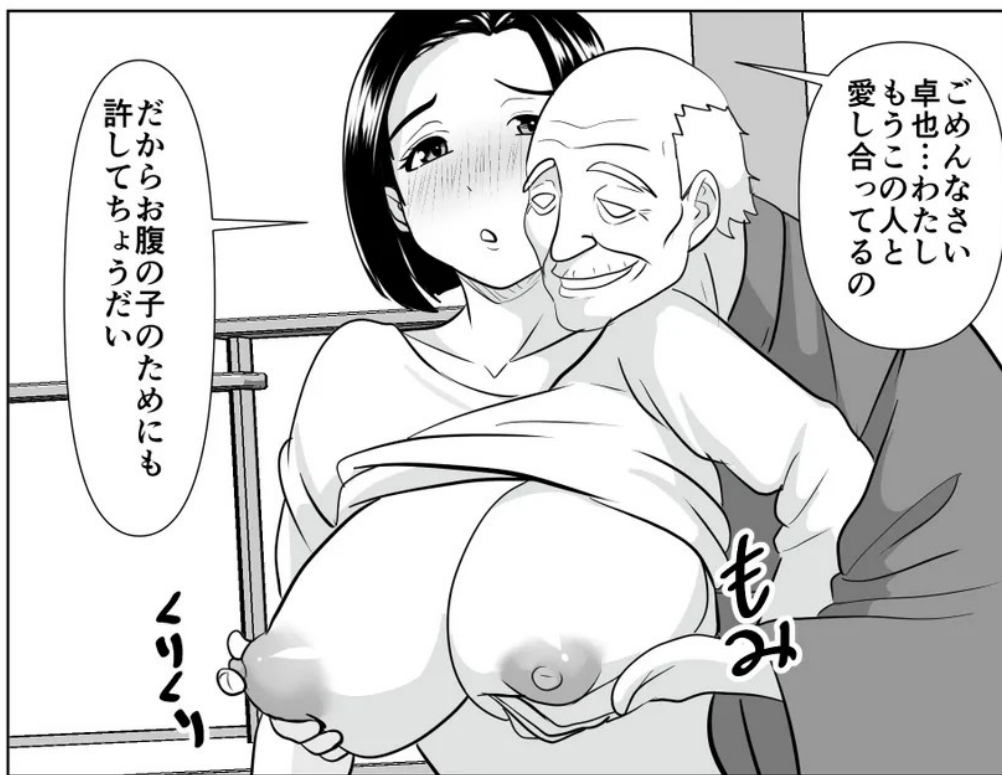
けどなあ何回も何回も
お花を慈しんでやっ
と花開いてくれたんじや

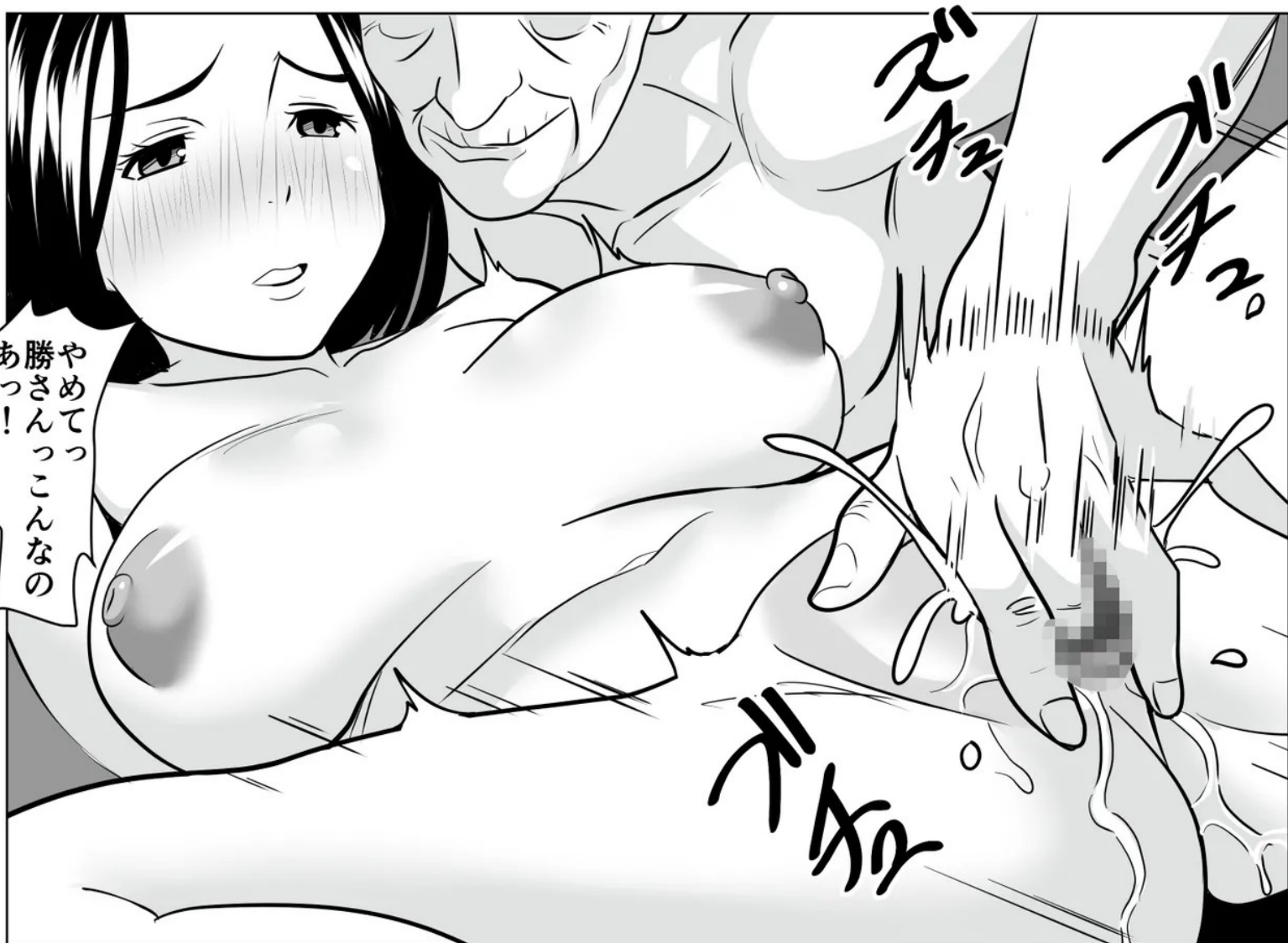


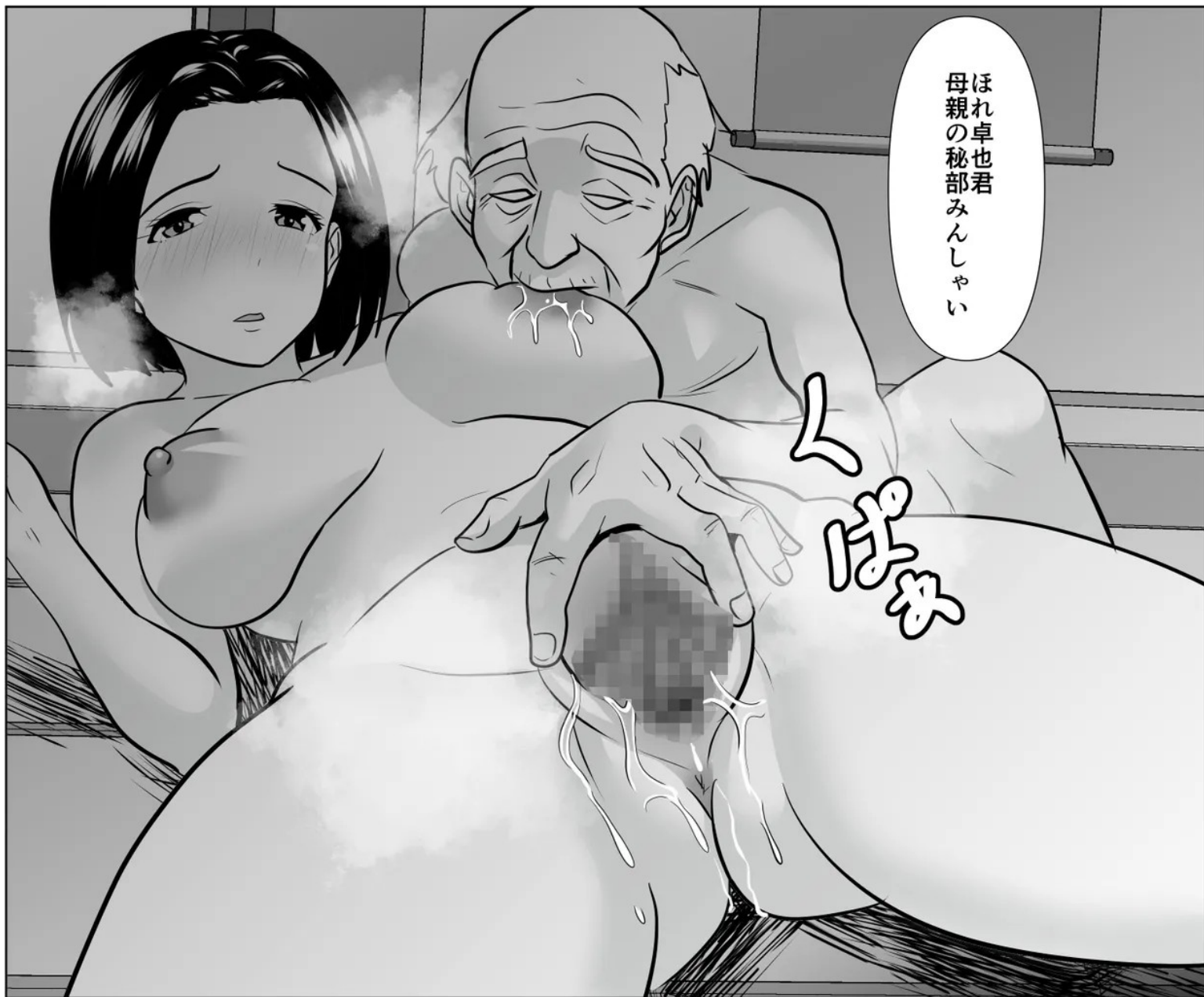
そしてワシの一物を
ひっひっひ!

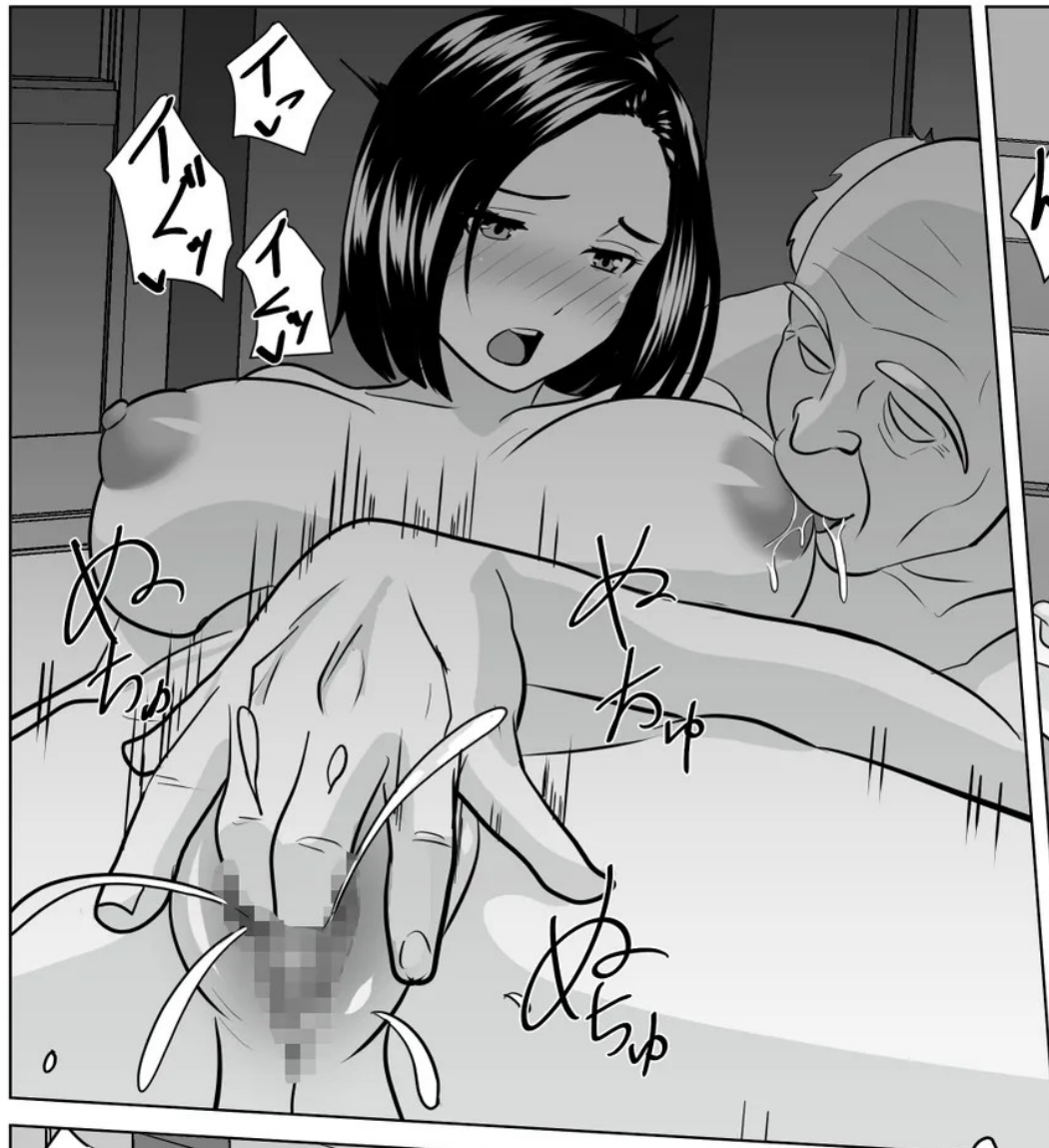










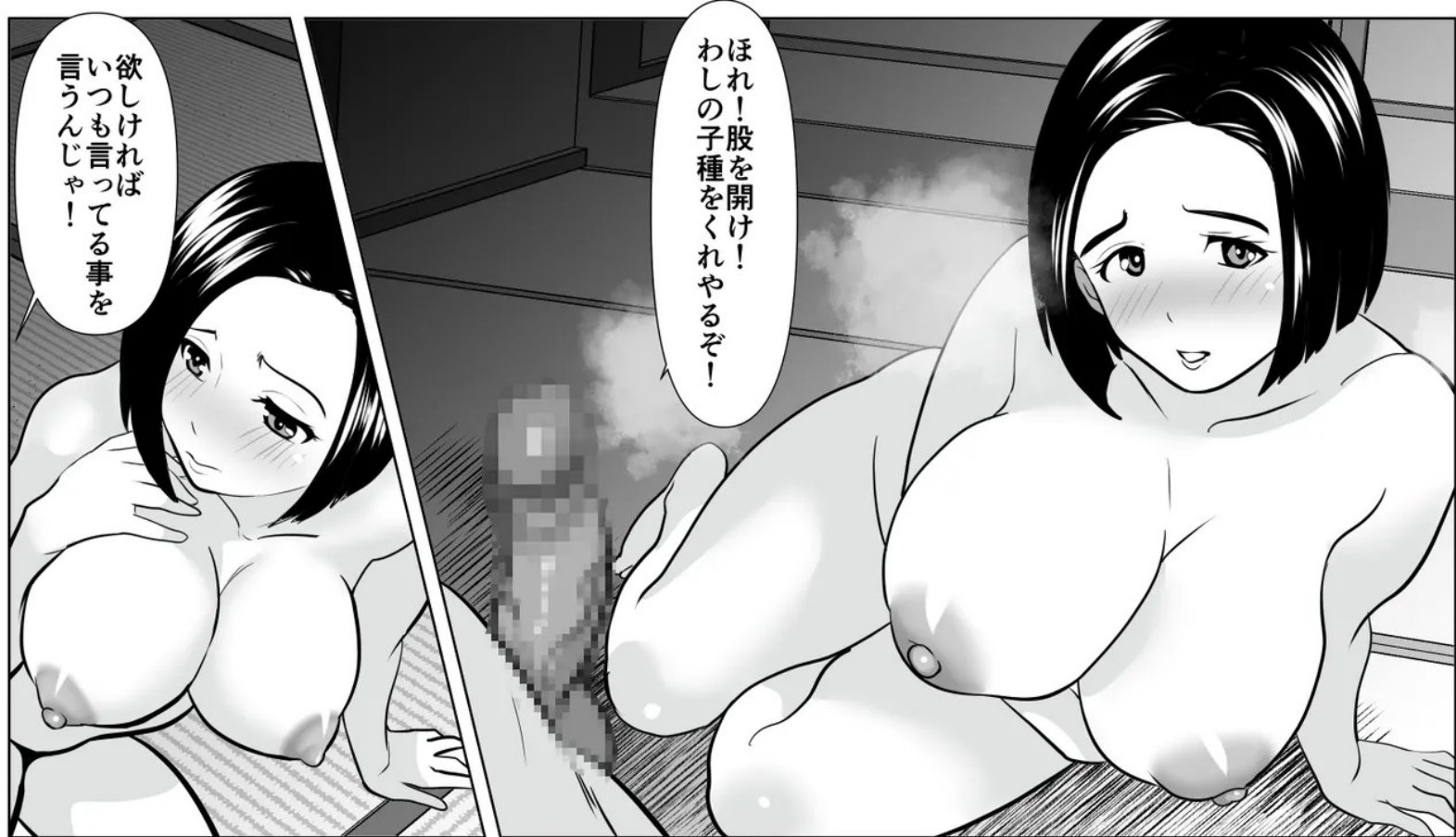


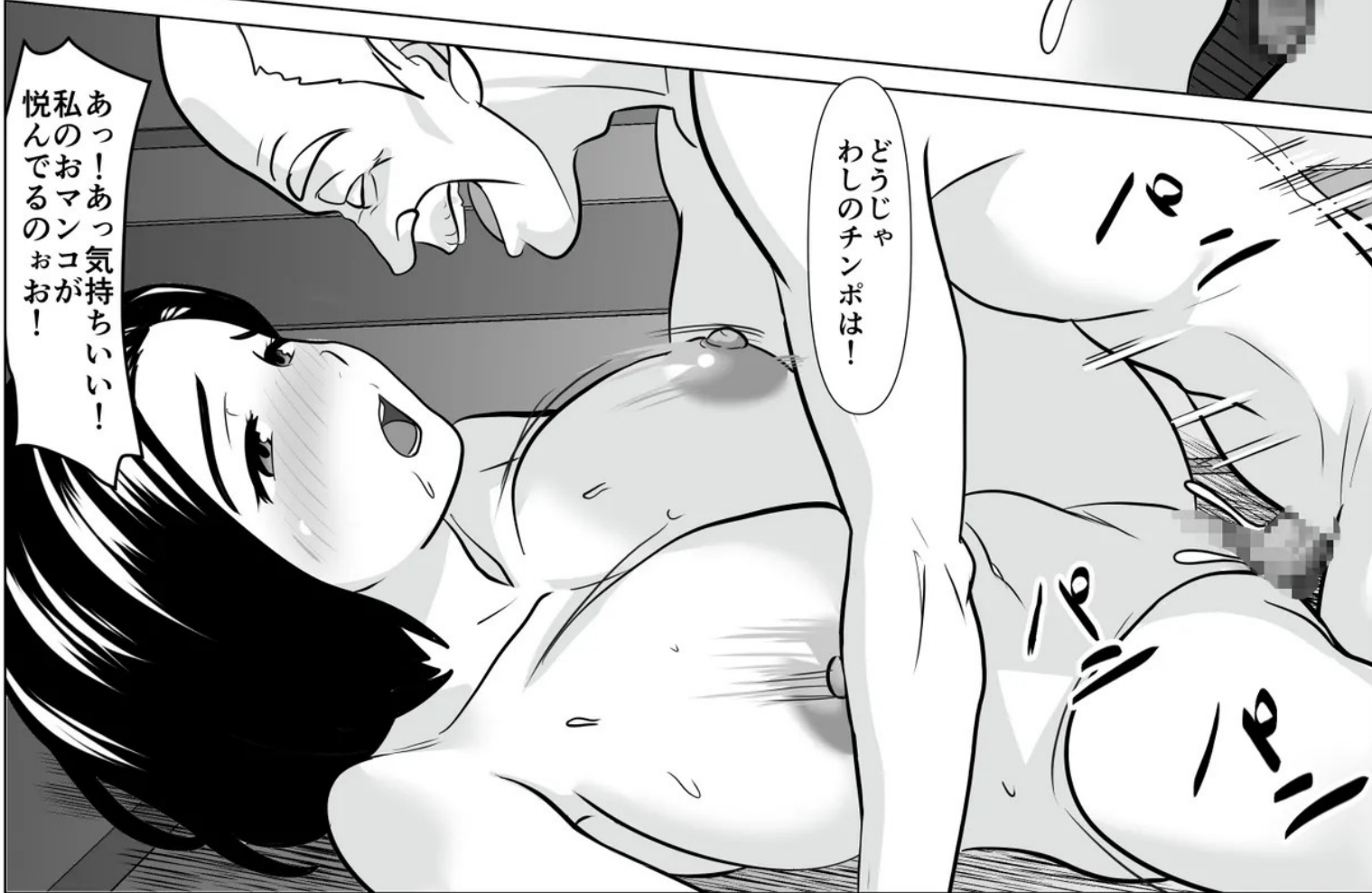
あ...あああ...













母でもなく女として
チンポが欲しくて
愛がほしかったのおお！

そうなのっ！
欲しかったの！

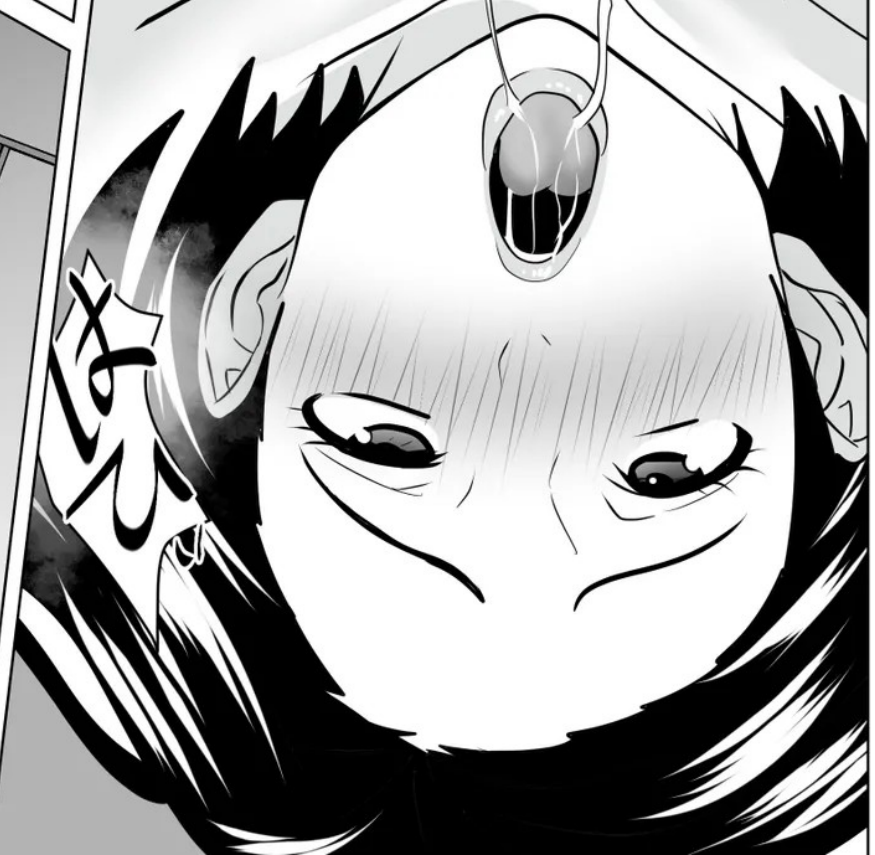


ひっひっ！
そうじゃろう
欲しかったんだよな！

ずっと我慢して
我慢してチンポが
欲しかったんだよなああ！



そんな..
そんなの聞きたくないよ
母さんっつ！







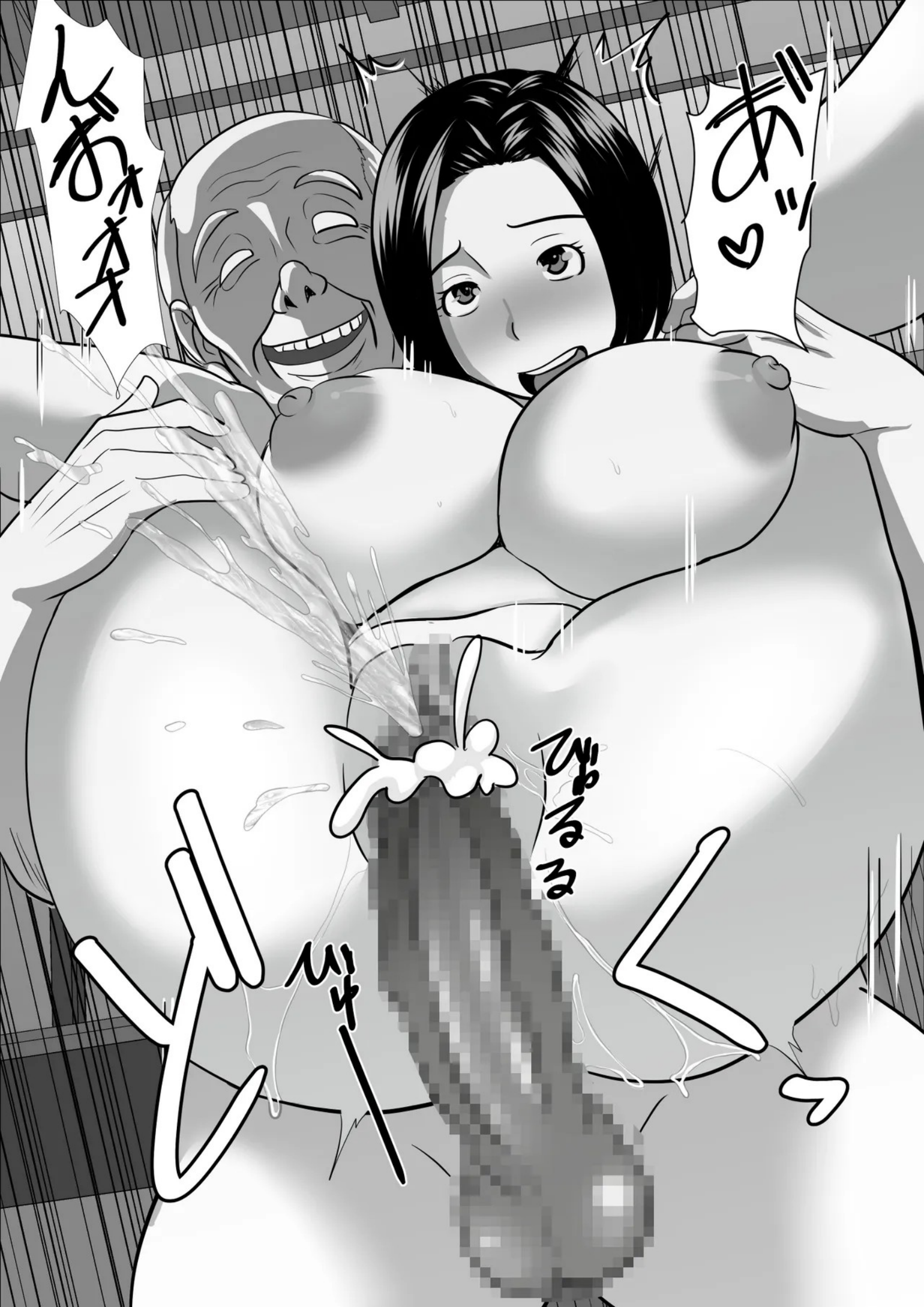
ごめんね
お母さん
おちんちんが大好きなの♡

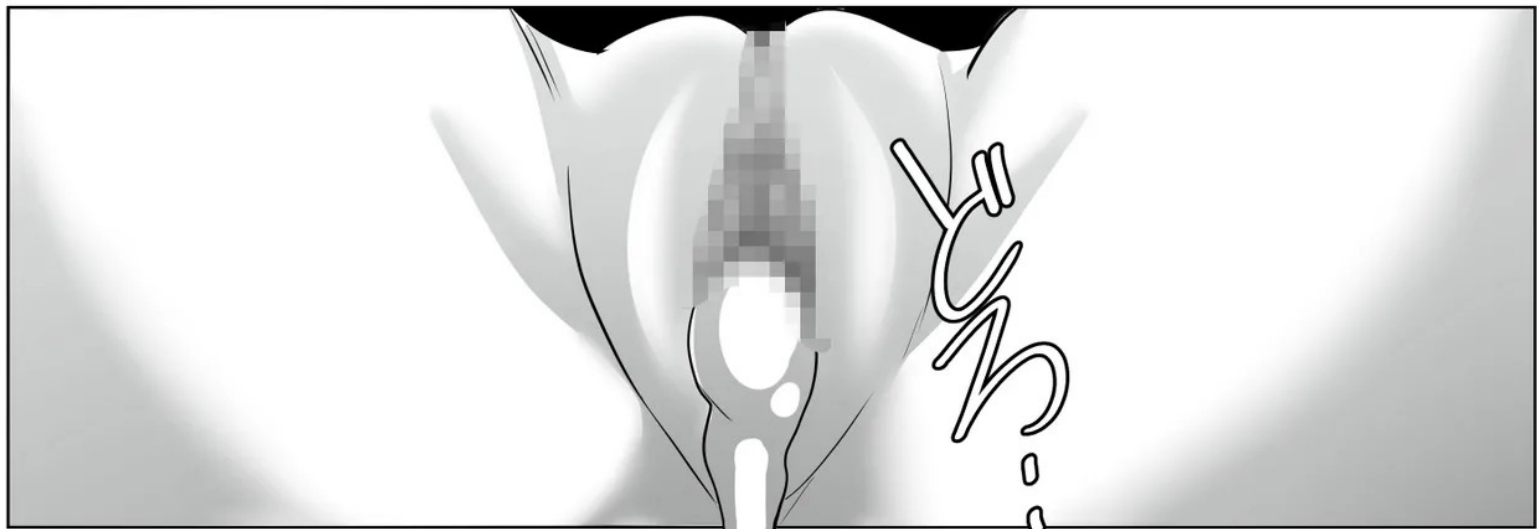
ヤクヤク

や









ひっひっひ
卓也君そんなしよげる事はない

はー

はー

がく

がく

がく

がく

どろ...

いいか
男には役割があるんじゃない
お主はわしが死んだあと

お腹の面倒を見るために
一生涯尽くして
わしの子を育ててくれよ